日本学術会議

第1回IFAC分科会（第25期）

（電気電子工学委員会・総合工学委員会合同）

議事録

日時：令和2年12月25日（金）13:00-15:00

会場：遠隔会議（主催会場：世話人 浅間一分科会世話人宅）

出席者：金子 真，井村 順一，岩崎 誠，榎木 哲夫，高橋 桂子，野口 伸，藤崎 泰正，水野 毅，浅間 一

欠席：堀 洋一

配布資料：

資料1 24期IFAC分科会設置提案書・名簿

資料2 25期IFAC分科会設置提案書・名簿・連携会員説明資料

資料3 24期総合工学委員会記録（抜粋）

資料4 加入国際学術団体に関する調査票

資料5 24期自動制御の多分野応用小委員会設置提案書・名簿

資料6 第63回自動制御連合講演会運営委員会議事録案

議事：（議事進行は1～3まで浅間世話人委員が、議事4以降は榎木委員が担当）

1. 参加者の自己紹介が行われた。
2. 前期までの分科会活動および今期の設置経緯について、資料1～3をもとに報告された。今期の構成員については、名簿記載の委員の他に、自動制御協議会との連絡チャンネルも含めて、石井秀明氏（東工大）を特任連携会員として本分科会構成員に加わってもらうことの発議がなされた。
3. 役員（委員長・副委員長・幹事）の選出
委員長として榎木委員，副委員長として藤崎委員，幹事として水野委員を選出した。
4. 分科会活動計画について（資料4）
今期の分科会活動について，委員からの意見を収集して決定していくことが報告された。
5. 自動制御の多分野応用小委員会設置について
(1) 資料5に基づいて審議し，小委員会の設置を承認した。小委員会の世話人には藤崎委員を選出し承認した。次に藤崎委員より，本分科会の構成員である浅間委員，井村委員，水野委員，榎木委員に小委員会構成員を継続してもらいたいこと，そして新たに岩崎委員に加わっていただくこと，その他の委員につ

いては関連学会と連絡をとり 2 月初旬を目処に委員の推薦を依頼することを承認した。なお藤崎委員からは、本小委員会の委員長は世話人が務め、副委員長は井村委員に、幹事は岩崎委員にお願いする案を小委員会に諮りたい旨の発言があった。

- (2) 資料 6 に基づいて、直近に開催された自動制御の多分野応用小委員会（開催期日は本小委員会の発足以前であったため、第 63 回自動制御連合講演会運営委員会として開催された）での議事について、自動制御の多分野応用小委員会の水野前委員長より報告があった。

6. その他

- (1) IFAC の状況および IFAC2023 の準備状況について（報告者：井村委員）

2020 年 11 月 2 日に開催した IFAC 2023 実行委員会キックオフ会議での議事について報告があり、運営体制・会場・参加者規模（3,300 名を想定）について、また共同主催として Japan NMO と自動制御協議会、共催として計測自動制御学会となることが報告された。2020 年 12 月 23 日の計測自動制御学会理事会において、共催の覚書の更新（IFAC 2023 側の締結主体を、設立なった一般社団法人自動制御協議会に変更すること）の承認がされたことについて述べられた。次に、コロナ禍の継続下での IFAC 2023 の開催形態の選択肢について説明があり、対面での開催、ハイブリッドでの開催、オンラインのみでの開催、の各々の場合の予算案について説明があった。また開催直前になって開催形態の変更を余儀なくされる場合のリスクを考え、保険会社との間で子細について協議中であることが報告された。

浅間委員から、自動制御協議会の設立の意義と、日本学術会議からの資金的支援について意見が述べられた。また、日本学術会議の国際委員に任ぜられたとの報告があった。

- (2) IFAC NMO 評価について（報告者：浅間委員）

新しく NMO になる組織を評価した上で入会を認めることは従来から議論されていたが、今般、その NMO の評価を現在の NMO に対しても実施することになった。まずはその試行として、日本・チリ・ベルギーの 3ヶ国の NMO に対して評価を行うことになった。質問状が NMO に対して届く予定で、NMO Representative は回答しなければならず、それを Membership 委員会が審査することになる。地域・規模・ガバメント形態等の上での多様性を反映して 3ヶ国の NMO が選ばれた。

- (3) 自動制御連合講演会の活動状況について（報告者：榎木委員）

第 63 回自動制御連合講演会が 2020 年 11 月 21～22 日に自動制御連合講演会がリモートで開催されたことの報告があった。特別企画として、原 辰次氏と榎木委員をオーガナイザとする「[わ]：これからの社会の中で求められるシステムとは？」のパネルが日本学術会議 IFAC 分科会と自動制御協議会を企画母体として開催されたことが報告された。次期の講演会は 2021 年 11 月に京都大学を会場として大塚教授の実行委員長のもてで開催される予定であることが報告された。

- (4) 自動制御協議会について（報告者：榎木委員）

本年 5 月に一般社団法人自動制御協議会の設立がなったことの報告がされた。

- (5) 分科会委員間でのメールアドレス共有について（報告者：榎木委員）

本分科会の議論の場・手段として、メーリングリストを用いてアドレスを委員の間で相互に共有して進めることを出席委員全員により承認し、欠席委員には後日その旨の承認を得ることを確認した。

- (6) 議事要旨に関する委員長一任について（報告者：榎木委員）

本分科会での議事要旨は開催後決まった期間中に HP に開示しなければならないので、その確認のためだけに分科会を開催することは現実的でないので、議事要旨については委員長一任とすることを認める。

(7) 本分科会の親委員会について（報告者：浅間委員）

本分科会は、電気電子工学委員会・総合工学委員会合同での分科会となっているが、メインの親委員会になるのは電気電子工学委員会です。今後本分科会への連絡は中野電気電子工学委員会委員長よりくる。昨期からそのように事務局と幹事会には申し出ていたが、連絡ミスで総合工学委員会の方からの連絡になっていたとの報告がなされた。

以上